

平成 24 年度 府立久美浜高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針 （中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校計画の重点 （短期経営目標）
<p>歴史と伝統を踏まえ、校訓「意欲、克己、創造」の精神を生かし、地域の期待に応える教育を推進する。</p> <p>1 生きる力の育成と進路実現</p> <p>2 総合学科及び小規模校の特色を生かした指導の充実</p> <p>3 将来構想の構築と専門教育の充実</p> <p>4 教職員の指導力の向上</p>	<p>1 成果</p> <p>(1) 学力向上フロンティア校支援事業の推進などによる基礎学力充実</p> <p>(2) 組織的な生徒指導体制による問題行動の減少</p> <p>(3) 教育相談体制の充実による不登校生徒などの減少</p> <p>(4) 図書館活動、朝読書による学習習慣の改善</p> <p>(5) きめの細かい指導による進路実現</p> <p>(6) 生徒の活動をタイムリーに発信するHPの更新広報活動の充実</p> <p>2 課題</p> <p>(1) 学力向上のための授業改善と家庭学習の定着に向けた取組</p> <p>(2) 生徒一人一人の進路実現をめざす系統的、継続的な進路指導</p> <p>(3) 生活上、学習上課題のある生徒に対する指導力の向上</p> <p>(4) HP、久美高だよりなど広報活動の充実</p>	<p>1 基礎学力の充実と進路指導の充実</p> <p>(1) 授業改善と授業力アップ</p> <p>(2) 2年目の学力向上フロンティア校支援事業の推進</p> <p>(3) 教育環境の充実</p> <p>(4) 家庭学習の定着</p> <p>(5) 生徒一人一人の進路実現</p> <p>2 生徒指導の充実</p> <p>(1) 小規模校のよさを生かしたカウンセリングマインドによる指導の徹底</p> <p>(2) 組織的な生徒指導体制の充実</p> <p>(3) 頭髪、服装違反ゼロを目指す取組</p> <p>3 広報活動の充実</p> <p>(1) 歩く広告塔である生徒一人一人のあいさつ、マナー、頭髪・服装の改善の徹底</p> <p>(2) HP、久美高だよりの更新・発行回数や質の向上</p>

評価領域	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価	成果と課題
組織運営	生徒の学力向上に係る取組の推進	分掌満足度80%を目指した全校体制による学力向上フロンティア校支援事業を展開する。-----授業改善につながる校内研修会の充実、校外研修会への積極的参加を促す。		
家庭・地域との連携	高校生活充実につながる取組の推進	特別支援教育の充実に係る支援学校等関連機関との連携やコーディネーター等校内体制の確立を図る。-----地元小中学校の出前授業、体験授業の受け入れ、教員間の交流を積極的に行う。		

評価領域	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価	成果と課題
P T A活動	役員会、委員会活動の充実	役員会の出席率を上げ、進路指導部、生徒指導部からの協力を得ながら、委員会活動を行う。		
	地区懇談会の開催	各会場で、昨年を上回る参加人数で実施する。		
学校図書	読書意欲の喚起	アサトレでの読書や学習支援を意識した本の購入や特集を行い、実りある読書への誘導を図る。		
	資料情報提供の充実	公共図書館との連携により、資料の質・量ともに充実を図り、各種のコンクール、ボランティア等、社会参加の情報提供、支援に努める。		
広 報	久美高だよりの発行、学校情報メールの配信	久美高だよりを学校行事に合わせてタイムリーに発行する。学校情報メールは、月末をベースに、昨年実績の29回を目標に配信する。		
	ホームページの更新	校内からの情報提供を受け、継続して更新ができるように取り組む。昨年実績の84回を目標に更新する。		
事 務 部	教育環境の整備	教室棟を中心に、危険箇所や老朽箇所の修繕を行う。 (手摺り、便器、内装等) 校舎内外の美化・清掃に努める。 (側溝、犬走り部分の清掃及び建物周辺の不用物の処分等)		
	保護者や来校者への親切・丁寧な対応	来校者や電話への親切丁寧な対応を心がける。 会議等での案内表示など他分掌へも丁寧な対応を呼びかけ、来校者へのスムーズな対応を行う。		
教育課程	平成25年度入学生教育課程の編成	新学習指導要領の全面実施を踏まえた教育課程を編成する。		
学習指導	質の高い授業づくり	各種の研修や研究・公開授業、教科会議での交流などを通して授業改善を進めるとともに、授業規律を確立させ、生徒の学習意欲を喚起する環境を作る。		
	学力向上フロンティア事業の推進	各種取組を推進し、生徒の「生きる力」を育成するため、関係部署間の連携、調整を図り、一部の取組ではなく、学校全体の取組とする。		
生徒指導	いじめ・窃盗を許さない学校作り	教師のアンテナを高くすると共に、「今週の振り返り」を実施し、生徒の実態を早期に発見し、早期に指導をする。		
	中身と共に外見でも勝負する学校作り	身だしなみ改善チケットを使っての効果的な指導をする。		
特別活動・部活動	部員数の増加、全国大会での上位入賞の達成	積極的な勧誘及び、中学校との連携を強化する。 女子部員の増加を目指す。		
	素晴らしい文化祭の実施	生徒の意識を高め、内容の検討、教師の指導方法の確立を目指す。		

評価領域	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価	成果と課題
進路指導	希望進路実現に向けての個別指導の充実	面談・面接指導を充実させる。（2年生全員面談、3年生就職希望者面談、進学・就職模擬面接等の実施） 進路指導室への入退室のマナーを徹底させる。		
	各学年との連携の強化と生徒の進路意識の涵養	各種調査、模擬試験、進路マップ等の一層の活用を図る。 学年との情報交流を密にするとともに学年ごとの進路ガイダンスを充実させる。		
健康・安全教育	校内美化活動と環境美化の啓発	定期考査の前などの期間を決めて、年間5回の校内美化キャンペーンを行う。各掃除場所の重点目標を定め、点検を行う。		
	充実した保健学習・指導の実施	各学年の発達段階に応じた保健学習を実施し、健康や安全に関する知識を習得させる。		
人権教育	人権尊重を踏まえた教育活動の充実	学年と連携し、学期に1回の人権学習を継続実施する。		
	いじめの予防および早期発見	「今週の振り返り」を継続利用し、いじめ等の早期発見を目指す。		
1年	高校生としての生活習慣の確立と学習習慣の形成	遅刻・欠席を減らす。 挨拶をする。 学習環境を整える。 身だしなみを整える。 補習等の利用促進、部活動の推進、自己課題を把握する。		
	感性の磨きと想像力や行動力の養成	さまざまな分野で活躍する人物などを知る。 感性に訴えかける人物などを通して想像力や行動力を養う。		
2年	マナーの向上	身だしなみ・授業規律・登下校のマナーなど、より良いレベルを目指す。		
	学力の向上	家庭学習の時間を増やす工夫をする。 進学補習の受講者を増やし、学習に向かう雰囲気を作る。		
3年	希望進路の実現	総合的な学習の時間等を活用し、希望進路に応じた指導を推進する。 進路指導部・各教科と連携し進路実現を図る。 （10名以上の大学進学）		
	身だしなみの改善と定着	毎日のSHRを活用し、面接試験に向かう身だしなみ指導を行う。		
農場部	農場生産活動の適正化	校内外で農場生産物の販売を促進し、目標生産額を達成する。 安全マニュアルの再確認を行い、大きな事故や怪我のない生産活動を推進する。		
	農業関係諸機関・団体・地域の農業従事者等との連携	永年の伝統でもある久美浜町有線放送「みんなの農業教室」の放送を継続する。 積極的に本校OBで地元の農業経営者との交流を図る。		

評価領域	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価	成果と課題
福祉部	学力の向上と地域を支える介護人材の育成	家庭における学習習慣を確立させる。 介護福祉士国家試験受験資格の取得と介護職員基礎研修の修了を支援する。		
	豊かな人間性の育成	さまざまな体験活動を支援し人間性を豊かにする。 ボランティア活動を支援し人間性を豊かにする。		
国語	基礎力の充実と進路実現に向けた指導	進学補習や基礎学力補充を実施し、また問題集等を利用して家庭学習の定着を図る。		
	言語活動の充実を図る取組の実施	外部のコンクール等への参加を図る。 総務企画部と連携して読書活動の推進を図る。		
地歴・公民	授業内容の精選による基礎・基本を重視した授業の展開	生徒の学力状況を把握した上で、他教科との連携も図りながら基礎・基本を重視した授業を展開する。		
	生徒の興味・関心を引き出す教材開発	視聴覚教材や実物教材、新聞などを利用した授業や自らテーマを設定して行う調べ学習などの研究・開発を進め、教員相互の交流を図る。		
数学	基礎的・基本的な内容の確実な定着	久美校標準テストを活用し、生徒の実態に即した授業を展開し、基礎的・基本的な内容の定着を図る。		
	指導法の研究・交流の促進と教科全体の指導力の向上	授業参観を積極的に行い、授業改善や指導内容についての交流を教科会等で行う。		
理科	授業に対する動機付け、興味付け、意識付け	視聴覚教材やプレゼンテーションソフトを取り入れた授業展開を工夫する。 実験や実習方法の工夫と改善に努める。		
	指導力の向上	公開授業を定期的の実施し、指導方法の交流を図る。		
保健体育	心身についての理解の促進と生涯にわたる運動への親しみの態度の育成	スポーツを通して達成感を体現させる。 計画的な研修を実施し、指導力の向上を図る。 健康的な生活習慣を確立させる。 部活動を活性化させる。		
	授業や体育的行事における事故防止と安全教育の徹底	事故を防止する安全教育を徹底し、安全に対する行動力を身に付けさせる。 定期的に施設設備の安全点検を実施する。 事務部と連携し、施設設備の改善に取り組む。		
芸術	生涯にわたる芸術を愛好する心情の育成	発表の機会を積極的に設定して達成感を味わい、より良いものを創りだそうという心を育てる。		
	学習環境の整備	芸術科実習費や教材販売を活用して授業に必要なものをそろえる。		

評価領域	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価	成果と課題
英 語	レシテーショングランプリ（暗唱大会）の成功と発展	普段の授業における音声面の指導を充実させ、発表することで実践的な英語を身に付けているという達成感を味わわせる。		
	国際教育の導入	他国の生徒とメールでやり取りする活動を提供し、国際的な視野で物事を見る能力を培う。		
家 庭	一人の生活者としての自覚の保持	身近な課題を取り上げ、家庭生活への興味・関心を高めるため、生徒が活動する場面を（実習を含む）を多く設定する。		
	家庭生活を運営していく力の向上	課題やプリントの記入等をやりきる指導と評価の一体化を進める。		
農 業	専門科目の授業・実習、農業クラブ活動を通して、教科指導・生徒指導の充実	将来の仕事を念頭、けじめのある行動や社会で求められる生産活動に望む心構えをはぐくむ。		
	新規生産科学系希望生徒等の意識改革と農業科目選択者の増加推進	科目「農業基礎」での1年生への日常的なPRや希望者向けの農業実習体験会や教職員向けの農業体験実習を行い、幅広く農業への理解を求める。		
福 祉	福祉への興味関心の高揚（1年）	福祉現場の見学や体験を支援する。		
	資格取得の取組を通じた学力の向上	授業カードを活用した主体的学習を支援する。 学習ノートを提出させ家庭学習習慣を確立させる。		
	福祉現場実習の充実	実習担当者会議を開催し施設と学校の相互理解を深める。 巡回指導の充実と事前・事後学習の徹底を図る。		
情 報	情報や情報技術を効果的に活用する能力の育成	ワードやエクセル、パワーポイントなど基本となる各ソフトの基本操作やコンピュータの適切な活用を身に付けさせる。 情報モラル、情報マナーの指導を徹底する。		
	授業規律を高める指導の徹底	コンピュータ教室の使用上の規約の遵守、提出物の締め切りの徹底、遅刻や無断欠席、忘れ物、私語等をさせない。		
商 業	ビジネスやパソコンに関する基本的な知識・技能の習得	身近な例や実社会の例をできるだけ多く取り上げ、生徒に興味を持たせて学習意欲を高め、理解を深めさせる。 コンピュータを用いた実習科目では、基本操作から反復して指導し、ビジネスで通用する技能を体得させる。		
	学習意欲を高めるための資格取得などの目的意識の設定	検定試験合格などの目標を提示し、合格できる力を養うと同時に、目標に向かって努力することの大切さ、楽しさを実感させる。		